

質 問 者 高 野 博

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 県の検討会の役割を發揮するために</p>	<p>福島第一原発事故から4年9カ月、いまだ福島の県民は10万人以上が避難生活を余儀なくされ、原発事故の異質な危険性をまざまざと見せつけています。こうした中、県と石巻市、女川町で設置した安全性検討会の役割が問われています。一層その役割を發揮するために、町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 住民の率直な疑問を汲み上げ、規制委員会や東北電力に問題提起する役割を求めたい。</p> <p>例えば、29mの防潮堤の問題点や格納容器での水蒸気爆発の危険性など、今回指摘し検討を求めたい。</p> <p>(2) 議論を深めるために、東北電力だけでなく、広く有識者、専門家を参考人として招へいし、多角的に問題点を検討されたい。</p> <p>(3) 複合災害時の原発避難計画の実効性、責任の所在等についても、幅広く検討されたい。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>
<p>2 国保制度の改定に伴う町の役割について</p>	<p>国保制度が2018年度に、県が保険者になる大幅な改定が行われます。これに伴って町の役割も大きく変わる可能性があり、住民の健康と負担の軽減、国</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>民皆保険制度について、質問します。</p> <p>(1) 県と町が保険者になること、町の独自の繰り入れも国会の大臣答弁で許容されていることを確認したい。</p> <p>(2) 子どもの均等割りは時代に逆行し、軽減措置こそ必要です。また同じく子ども医療費無料化に対する国庫負担減額のペナルティも撤廃すべきです。国に改善を求めるべきです。</p> <p>(3) 全国知事会は、加入者の貧困化と高すぎる保険料という構造的問題を温存したままの「都道府県化」に猛反発し、「1兆円の国庫負担増」を求めています。町長の見解を求めます。</p> <p style="text-align: right;">(質問の相手：町長・担当課長)</p>
<p>3 復興まちづくりの新たな展開へ</p>	<p>どの地方自治体も人口流出に歯止めをかけようと必死の取り組みがされています。</p> <p>(1) 防集移転の土地を含め、一般公募を認める動きがあり、本町こそいち早く発信し、転入者を増やす熱意が伝わればと考え検討を求めます。</p> <p>(2) 仮設から出る場合、備品を無償譲渡できないか。</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>(3) 仮設で暮らす人から、ガスレンジが不具合で、使われていないガスレンジを譲っていただけないかとの問い合わせがあった。業者の点検を受けて使用を許可できないか、検討を求めます。</p>
	<p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>